

事業報告

令和4年度研究会報告

法学研究所

刑事法研究会

(第1回例会)

1、2022年5月28日(土) 16:30

1、本館 第二会議室

1、テーマ及び報告者

緊急避難における「現在性」と正当防衛における「急迫性」の再構成

日本大学大学院法学研究科博士前期課程2年 小林 侑介

(第2回例会)

1、2022年6月18日(土) 16:30

1、10号館 1041講堂

1、テーマ及び報告者

いわゆるキャッシュカードすり替え取得型の窃取事案につき窃盗未遂罪の成立を認めた事例(最決令和4年2月14日・公刊物未登載)

本学部特任教授 南部 篤

(第3回例会)

1、2022年7月23日(土) 16:30

1、10号館 1041講堂

1、テーマ及び報告者

外国公務員等に対して金銭を供与したという不正競争防止法違反の罪について、共謀の成立を認めた第1審判決に事実誤認があったとした原判決を破棄自判した事例(最高裁第2小法廷判決・令和4年5月20日、令和2年(あ)第1135号、不正競争防止法違反幫助被告事件)

本学部准教授 岡西 賢治

(第4回例会)

1、2022年10月15日(土) 16:30

1、10号館 1032講堂

1、テーマ及び報告者

欺罔に基づく同意における、重大な錯誤と重大でない錯誤

本学部教授 野村 和彦

(第5回例会)

1、2022年11月12日(土) 16:30

1、10号館 1071講堂

1、テーマ及び報告者

家庭内における性的虐待への対応策の検討

本学部専任講師 西山 智之

(第6回例会)

1、2022年12月10日(土) 16:30

1、10号館 1071講堂

1、テーマ及び報告者

インサイダー取引の罪における「その者の職務に関し知ったとき」の意義について
—最高裁令和4年2月25日決定を素材として—

本学部教授 南 由介

政経研究所

政治研究会

(第1回例会)

1、2022年10月15日(土) 16:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

政治家と「声」

拓殖大学政経学部・准教授 岡田 陽介

(第2回例会)

1、2022年11月25日(金) 16:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

「冷戦」の再来か? —自由民主主義と権威主義をめぐって

駒澤大学法学部政治学科・教授 山崎 望

(第3回例会)

1、2022年11月29日(火) 16:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

混迷深めるアジアの民主主義と官民協力の必要性

一橋大学大学院法学研究科および国際・公共政策大学院教授・副学長補佐 市原 麻衣子

(第4回例会)

1、2022年11月4日(金) 16:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

カンボジアにおける権威主義体制の持続と集団的権力継承

新潟国際情報大学国際学部・准教授 山田 裕史

公共政策研究会

(第1回例会)

1、2022年10月27日(木) 16:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

政府委員と政府参考人 ―国会審議活性化法施行後20年の現状と課題

本学部教授 上村 進

政経研究所共同研究研究会

(第1回例会)

1、2022年10月11日(火) 15:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

コロナ対応の比較政治社会学:「統制」と「自粛」のあいだで

千葉大学大学院社会科学研究院・教授 水島 治郎

(第2回例会)

1、2022年11月17日(木) 16:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

党派性およびイデオロギーとワクチン接種:サーベイ実験を用いたメカニズムの解明

金沢大学人間社会研究域法学系・講師 横山 智哉

(第3回例会)

1、2022年12月13日(火) 13:00

1、Zoom方式による開催

1、テーマ及び報告者

Growth or Virus? Anti-Virus Policy, Fiscal Stimulus, and Democratic Advantages
in the Pandemic

東北大学大学院情報科学研究科・准教授 東島 雅昌

高知県立大学文化学部・准教授 清水 直樹

1、テーマ及び報告者

Election Timing and Autocrats' Response to the COVID-19 Pandemic

高知工科大学経済・マネジメント学群・准教授 矢内 勇生

東洋大学法学部法律学科・准教授 鷺田 任邦

令和3年度学内学会・研究所合同研究会

1、日時 令和4年3月17日(木) 9:30開場 9:50開会

2、開催方法 Zoomによるオンライン開催

司会・進行 中 正樹, 佐藤 英, 小田 勇樹, 西山 智之

3、自由論題

- | | |
|--|-------|
| ①社会問題とジャーナリズムの構築 水俣病事件報道の分析を中心に | 山口 仁 |
| ②「沖縄的なるもの」、「琉球的なるもの」機会の詩学として | 前嵩西一馬 |
| ③非国家主体に対する国際法上の自衛権の射程 | 本吉 祐樹 |
| ④白居易の色彩表現に関する考察 | 中元 雅昭 |
| ⑤投資家の楽観と新規株式公開後の長期株価パフォーマンス | 池田 直史 |
| ⑥東日本大震災と地方議会：福島県双葉町議会の議会運営 | 林 紀行 |
| ⑦ Making Sense of the Gray Zone : Violence in Semi-technologized
Conventional Civil War in Nineteenth-Century Japan | 窪田 悠一 |

4、退任記念講演

- | | |
|---|------|
| ①電子消費者契約紛争における国際裁判管轄について
～EU法・アメリカ法との比較を通じて～ | 中村 進 |
|---|------|

令和3年度・令和4年度定期無料法律相談会

令和3年度・令和4年度定期無料法律相談会は、千代田区及び校友弁護士の協力を得て開催された。概要は、下記のとおりである。定期無料法律相談会の趣旨である地域社会との交流を図り、学生たちの法学実践教育を行うという目的を達成することができた。

1、日 時

【令和3年度】

(第3回) 令和4年2月12日(土)

【令和4年度】

(第1回) 令和4年7月23日(土)

(第2回) 令和4年9月24日(土)

(第3回) 令和4年10月22日(土)

(第4回) 令和4年11月28日(土)

(第5回) 令和4年12月17日(土)

※いずれも時間は、午後1時～午後3時

2、場 所

法学部5号館

3、参加者(敬称略:50音順)

(専任教員)

帷子 翔太・林 誠吾・横山 裕一

(校友弁護士)

大内 倫彦・神頭 正光・古川ケニース・町田 伸明・渡部 和人・角 学

(補助学生)

参加教員担当ゼミナール学生等 各回2名

4、相談件数・内容

①件数 26件

②内容

労働問題(従業員のトラブル, 解雇, 配置換えなど)	2件
家族関係(離婚, DV, 児童虐待など)	3件
扶養, 相続関係(遺言, 遺産分割)	3件
交通事故	3件
交通事故以外の不法行為(名誉毀損, 器物損壊など)	1件
貸金, そのほかの債権回収	1件

借地借家	2件
借金，保証そのほかの金銭債務（含む破産）	1件
建築関係	2件
刑事事件	2件
近隣問題（道路，境界，騒音，マンション管理など）	4件
会社そのほかの法人に関する問題	1件
その他	1件

令和4年度法律討論会

第44回法律討論会は、日本大学法学研究所による主催、日本大学法曹会及び日本大学法学部校友会の後援により令和4年12月3日（土）12時00分から法学部本館3階大講堂において開催された。

（出題者）

加藤 雅之 教授

（審査員）

本多 健一 裁判官・西尾 浩登 検察官・大川 康德 弁護士

中西 茂 教授・大杉 麻美 教授・野中 貴弘 准教授

蓮田 哲也 准教授

（進行）

鶴岡 拓真 弁護士

◆問題

- 1 以下の【事実】を前提に〔設問〕に答えなさい。なお、フリマサイトFの規約および同サイトの責任については、考慮する必要がない。

【事実】

- 1 絵画のコレクターとして著名なAは、インターネット上の個人売買サイト（以下、フリマサイトFとする）において、「大雅の美術品」というアカウント名を用いて、不用品の売却などを行っている。同アカウントがAのものであることはよく知られていた。フリマサイトFでの取引は、購入時に出品者が決済手段を購入者に伝え、購入者が振込み等をする形で行われていた。なお、Aが使用していたアカウント名にある「大雅（たいが）」というのは、Aの子B（20歳）の名前をそのまま使ったものである。
- 2 そのBは、オンラインカジノで遊ぶ金欲しさに、何か金目の物がないかとA宅の保管庫をあさっていたところ、Aが所有する絵画甲を発見した。そこで、6月1日、Bは、フリマサイトFにおいて、アカウント「大雅の美術品」をAに無断で利用して、甲を100万円で出品した。甲の時価は200万円ほどであったが、Bはそれを知らずに甲を出品したのだった。
- 3 フリマサイトFへのログインにはパスワードが必要であるが、Aは以前にフリマサイトFで不用品を売却する際、出品方法や購入者とのやり取りについてBの助け

を借りることが何度かあり、ログイン用のパスワードをBに伝え、Bに操作をしてもらうこともあったため、BはフリマサイトFに「大雅の美術品」のアカウント名でログインすることができた。

- 4 出品から間もなくして、美術品の収集を趣味とするCから、甲を100万円で購入する旨の申込みがあり、すぐにBはCに対して承諾する旨、およびB名義の銀行口座への振込みをして欲しい旨のメッセージを送った。AとCは過去に直接に取引をした経験があり、Cは、甲がAの所有物であること、およびAが甲を売却するつもりがないことを知っていた。もっとも、代金が相場の半額ほどであることから、甲を転売して利益を得ることを考えて、Aに対して直接（フリマサイトFを介さずに）連絡を取って売却の意思を確認することをしなかった。
- 5 6月3日、BはCから甲の代金100万円が支払われたことを確認し、甲をCに発送し、引渡しを完了した。Bはすぐに100万円をオンラインカジノで費消してしまった。
- 6 7月10日、AがたまたまフリマサイトFの履歴を確認したところ、甲がCに売却されていること、A宅の保管庫から甲がなくなっていることを知り、慌ててCに連絡し、自分はこの取引に一切関わっていないので甲を返還してほしいと伝えた。
- 7 ところが、Cは、Aから連絡があった時点で既に、甲をDに代金250万円で転売しており、甲をDへ引き渡し、代金を受領していた。甲については、その後Dから海外に転売されたとの噂もあり、現在の所在は不明である。また、Dの行方も分からない。
- 8 この説明をCから受けたAは、Cに対し、甲を返還する代わりに、Cが受領した代金250万円を自らに支払うよう請求した。

〔設問〕

AのCに対する250万円の支払請求が認められるかについて、Aの請求の根拠を明らかにするとともに、考えうるCの反論を想定しつつ、論じなさい。なお、250万円全額が認められないという結論に至った場合、最終的に認められる金額まで明らかにすること。

今年度における法律討論会では、法律討論会実行協議会における議論を踏まえて、学生からの質問がより活発に出るようするため従前からのルールを大幅に変更し、2名から5名の6チームが出場し、各チーム一人の立論者が10分以内で論旨を発表し、他の出場チームや傍聴者からの質疑応答に対して15分間応答するというルールのもとに今年度の法律討論会を実施した。

討論会に先立ち、日本大学法学部長の小田司教授及び日本大学法曹会会長の野村 吉

太郎弁護士からの挨拶があり、続いて進行係の鶴岡 拓真 弁護士から発表の手順と審査基準等の説明がなされたあと討論が開始された。

討論終了後、審査員を代表して大川 康德弁護士から審査結果の発表があり、続いて審査員を代表して本多健一裁判官からの講評があった。引き続き、表彰式が行われ、法曹会、法学部校友会から優勝チームに法曹会杯・法学部校友会杯が授与された。また、優勝、準優勝及び3位の各チームに対して法曹会から盾が授与されるとともに法学部校友会から副賞として図書カードが授与された。

あわせて法学部校友会から出場者全員に出場記念品が贈呈されるとともに、法学研究所から参加賞としての図書カードがそれぞれ授与された。

今年度は、コロナ禍での実施であるものの、法律討論会終了後本館131講堂にて出場者・審査員との茶話会を実施した。

成績結果は、以下のとおりである。(カッコ内は、学科・学年)

優勝（第6組）

草野 光稀（法律学科4年）・松本 菜摘（法律学科4年）

準優勝（第2組）

小竹 康史（法律学科3年）・井上 尊（法律学科3年）

渡辺 咲貴（法律学科3年）・島貫 泰行（法律学科3年）

第3位（第3組）

本合 智景（法律学科4年）・吉田 栞（法律学科4年）

参加賞（順不同）

- ・斎藤 拓馬（法律学科3年）・マ ランキョウ（法律学科3年）
- ・森田 大毅（法律学科3年）・寺崎 茉愛（法律学科3年）
- ・堀内 太智（法律学科3年）・小竹 康史（法律学科3年）
- ・井上 尊（法律学科3年）・渡辺 咲貴（法律学科3年）
- ・島貫 泰行（法律学科3年）・本合 智景（法律学科4年）
- ・吉田 栞（法律学科4年）・坪田 陸巧（政治経済学科2年）
- ・鈴木 勇貴（法律学科2年）・山本 彩斗（法律学科2年）
- ・西山 一樹（法律学科3年）・西岡 凌（法律学科3年）
- ・矢野 有朔（法律学科3年）・高畑 光汰（法律学科3年）
- ・金原 直人（法律学科3年）・草野 光稀（法律学科4年）
- ・松本 菜摘（法律学科4年）

優秀質問賞

本合 智景（法律学科4年）・小松 大介（法律学科3年）
山本 彩斗（法律学科2年）・高畑 光汰（法律学科3年）
中村 美日（法律学科2年）・吉田 栞（法律学科4年）
堀内 太智（法律学科3年）・マ ランキョウ（法律学科3年）
草野 光稀（法律学科4年）・小竹 康史（法律学科3年）

令和4年度国家試験合格者（研究室生）

◆司法書士試験 1名

盛 子愷（法律学科3年在学中）

◆弁理士試験 1名

地引 珠莉（法律学科4年在学中）